

世界遺産登録20周年記念イベント！！ 茅刈り体験10月30日(金)、茅ニュー作り11月9日(月)開催！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>

ね

そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成27年 9月号

荻町合掌集落の景観に関する懇談会開催！！

8月26日夜、荻町公民館にて見出しの会を開催しました。これは荻町の景観の維持改善に努めることを目的に平成19年にスタートした会合で、今回が通算9回目の開催となります。民宿連絡協議会、土産物組合、飲食店組合、見学施設連絡協議会、観光協会、役場観光振興課、教育委員会文化財係、守る会より、10名の皆さんにお集まりいただき意見交流を行いました。以下にその概要を掲載します。

◎役場観光振興課より

- ・昨年度より外国人観光客が増えている。また、3～5月の駐車場入込み状況も増加傾向にあり、みだしま駐車場や寺尾駐車場の活用も必要に感じている。
- ・世界遺産登録20周年記念事業として、県内世界遺産つながりで、「美濃和紙あかりアート in 白川郷」を開催する。多くの皆さんにご覧いただきたい。
- ・村では平成12年に「白川村ポイ捨て等防止条例」を制定した。また、「ゴミの持ち帰り運動」も継続している。一方、空き缶や串、包装紙のポイ捨てといった問題や回収容器（ゴミ箱）の設置についても話題にしてみました。



[10名の参加者で意見交流]

◎役場教育委員会より

- ・昨年は里山整備事業を農林係と教育委員会が共同で実施完了した。限られた予算の中、まだ不十分な所もあるが、かなりの整備ができた。今後は所有者・住民による継続した維持管理をお願いしたい。
- ・教育委員会が主催する20周年イベント「ゴブリンアート」を実施した。子供会の協力のもとたくさんの方の地元の子ども達に参加いただけた。また、守る会が実施主体となる「茅ニューイベント」として、茅刈り（10月30日）と茅ニュー作り（11月9日）を予定。村外者への参加募集もかけているが、一番の戦力は住民。ぜひ積極的なご参加とご協力で20周年を盛り上げていただきたい。

◎各団体の取り組み状況

- 飲食店組合：ソフトクリームのもニュメントやポスター、メニューの外への掲示は華美にならないものという取り組みを継続中。また、組合未加入業者への声かけも行い、加入者も増加した。
- 土産物組合：卸業者の進入時間や停車場所についての協力呼びかけを継続。慣れからルーズになってきた業者にも再度お願いしていく。外国人に対応した多言語説明カードの作成を検討中である。
- 見学施設連絡協議会：看板を増やさないと、看板の改修についてはより景観に配慮したものとなるよう互いに研究していくこと、ゴミのない観光地にする努力等を継続実施。
- 守る会：20周年記念事業として景観に配慮した木柵を50台作成。概ね好評でほぼ完売。オオハンゴンソウの除去を観光協会青年部に依頼。月1回の定例会等、景観保全にむけた取り組みを実施。
- 民宿連絡協議会：毎年役員で集落内の巡視を実施。昨年は9月に行ったが大きな乱れは感じなかった。今後も継続して取り組む予定。
- 観光協会：見える取り組みとして、青年部がオオハンゴンソウ除去作業やゴミ拾い作業を。見えない部分では、窓明かり不点灯への対応、今年は無かったが荻町の景観に対する苦情対応を。また、他団体との連携で、荻町地区外ではあるが道路清掃や桜の植樹も毎年行っている。

◎景観に関する意見交流

- ・ポイ捨て防止条例に関わり、平成21年7月に村より、団子・かき氷・ソフトクリーム等の容器ゴミへの対応や自販機等による空き缶に対して、回収容器（ゴミ箱）の設置をお願いする文書を、荻町集落内観光従事者全ての皆さんに通知をしている。
- ・自販機では、離れた所に回収容器が置かれている場合もある。また、空き缶以外のゴミを捨てていく心ないお客様も見えるので、目の届く店の前に回収容器を設置したりしている。
- ・回収容器は色が赤や青が目立つため、景観に配慮して見えにくいところに置く意識も働くのか。高速

のパーキングエリアで木枠で覆ったゴミ箱を見かけた。そのような努力もしつつ設置して欲しい。

- ・条例化されているなら、なおさら回収容器は置くべき。「回収容器すら置けないのなら自販機も置くな」という厳しい声も聞かれる。また、自販機を置きたくないけど、置かせてくれと依頼され設置している所もあるよう。管理は設置者任せだが、そんなにお金にはならないと聞いている。
- ・外置き販売機自体は増えていない。減る傾向にある。この会でも、外置きの自販機は置かず家屋内に設置を。現在ある自販機も、木板で覆ったり色に配慮いただくといったお願いを継続したい。
- ・団子屋さん等では、串の回収箱を置いたり声かけをする努力をしてみえる。「自分の店で出したゴミではないから」という狭い考えでなく、集落内で出たゴミは、少なくとも集落内の観光営業者みんなと協力して回収するという意気込みと行動を持っていただきたい。
- ・「ゴミの持ち帰り運動」の意味を理解していない人がみえる。世界遺産登録当初、ゴミの投げ捨てや観光バスに弁当を積み込み、ゴミとなった弁当箱を集落内に放置していく状態が景観上の問題となった。そこで「ゴミの投げ捨てはしない」「外から持ち込んだゴミは持ち帰る」の趣旨で行った運動である。集落内で出たゴミは持ち帰りでなく集落内で回収するのが当たり前と考えるべき。
- ・宿泊施設では、宿泊者のゴミを宿で受け取るのは当たり前のサービスとして行っている。商売をやっている以上、お店でゴミを受け取るのは当然の行為。お互い様の想いでゴミを受け取る協力体制をつくりましょう。
- ・里山整備で出た倒木の処理は、有効活用は出来ないだろうか。
- ・木を売って金になる時代ではなくなった。現予算の中で膨大な倒木の処理費は出ないが、積み上げる等見栄えに配慮した。また、薪等で活用したい方は、地権者との窓口になるので役場農林係へ連絡を。
- ・里山整備を契機に、守る会での立木の伐採に関わる現状変更申請の判断は、①周辺への安全上の問題がある場合、②隣接する家屋に支障を与える場合については、跡地をしっかりと緑化することを条件に柔軟な対応をしている。もちろん天然記念物や景観上重要な物件は特別扱いとなる。
- ・有料駐車場行為は、皆さんのご理解ご協力をいただき落ち着いた。ただ呼び込み行為については一部の店舗が。交通の妨げになるのも問題。観光協会・守る会・役場等と連携し、お願いを継続している。

◎今後の取り組みについて

- 各団体とも、今までの取り組みを継続し高めていくことを確認しあう。
- ・看板のみに頼ることのない、外国人客への対応やコミュニケーションを図る努力をしたい。
- ・自販機の回収容器やゴミ対応の話をしっかり会員に広め徹底を図りたい。
- ・今後の課題をしっかり見極め、他業種他団体と連携をとって向上に努めたい。
- ・年に1回の懇談会であっても、継続することに価値がある。今回話題の中心となったポイ捨て等防止条例やゴミの持ち帰り運動の趣旨について、定例会や各種団体の会合等、様々な場を通して周知徹底をお願いしたい。また、同業者では気づかない部分を他業種から指摘いただけるのもこの会のよさ。守る会がパイプ役となるので、今後も前向きなご意見ご支援をお願いしたい。 [文責：和田]

守る会活動スローガン ～守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

= 8月の活動報告 =

- 8月 7日 合掌ゴブリンをつくろう (教育委員会主催20周年イベント)
- 8月 7日 8月定例会・役員会
- 8月 8日 ねそ8月号配付
- 8月 11日 茅ニュー試作 (講師：鈴木茂氏、教育委員会主催)
- 8月 19日 第4回柿じいの白川遺産学セミナー
- 8月 26日 荻町合掌集落の景観に関する懇談会
- 8月 27日 JNT旧松井家・旧寺口家管理運営委員会
- 8月 29日 美濃和紙あかりアート in 白川郷 (~30日、20周年イベント)

※10月の定例会は、8日(木)公民館会議室にて開催を予定しています。

= 区民の皆様へ =

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容の説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆さんのご理解ご協力をお願いします。

☆9月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

白川村・・・荻町地区バスターミナル整備
飛騨農協・・・ライスセンターシャッター交換(再審議)

*****・駐車場舗装
*****・仮設車庫

- ※富岡市のお蚕さんを9月11日に搬入。今回は、白川小、旧田島家養蚕展示館、守る会、和田家で飼育します。
- ※『H28年度集落整備事業要望書』をご記入の上、各組委員へ提出ください。10月定例会にて合掌財団に提出します。
- ※9月の組寄せにて、茅刈り作業、茅ニュー作りへの参加希望を各組守る会委員にお知らせ下さい(名簿を20日までに和田へ)。